

ふいさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



年輪の御髪おぐしからめて柚子湯かな

仲町 玉野 研一

早朝の頬ほにやよひとき暖房車

西岡町 渋谷 みさ子

冬ふゆくるる見舞ひし友の笑顔かな

西原町 児玉 久美子

如月ごとけや長き下したネル過ぎて晴

南桜町 宮腰 幸子

人類をむしばみゆけり春の風邪

緑町 池田 良子

春めくや一人暮の背せやわらかし

西町 金澤 頼子

春めきて髪を短かく切り進む

元町 印牧 安子

手さぐりの晩年もよし雛の酒

仲町 坂部 和子

雨だれの音高らかに春めきて

元町 西崎 弘子

寒明けや軒のカラスもくろきて

仲町 梅基 文子

春残し恩師の受章紙面うけしょうしめんとて

旭町 大河 博子

咳せきこぼし戸口を掃きぬ朝の日に

西町 岸波 君江

自転車の野ざらしのまま春来る

西町 杉浦 とし枝

雪まつり絶叫沸き立つ滑り台

藤本町 鈴木 ゆき子

梅の花活けし菓子舗の飾り窓

西岡町 高瀬 久美子

定刻のダイヤ乱れて雪しまく

東町 高橋 世津子

受験子の顔に決意をのぞかせて

西町 文梨 清子

橋脚の古りて渦巻く雪解川

仲町 芳賀 星子